

日環セ東発第 137号

2019年 9月26日

関 係 各 位

〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町10-6
一般財団法人 日本環境衛生センター
理 事 長 南川 秀樹
(公印省略)

第3回保健所環境衛生監視員講座 開催のご案内

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、保健所環境衛生監視員の業務は、従来からの理容師法、美容師法、旅館業法等の営業六法施設の相談、許可確認、衛生監視指導のほか、最近では、住宅宿泊事業法に基づく民泊届出事務や、高齢者施設でのレジオネラ症発生による感染症調査への協力など、とりまく環境は大きな変化の渦中にあります。そのなかで環境衛生監視員は、市民の命、健康を守るために、法律を所管していない高齢者施設等へ調査で訪れる機会があります。また、自治体によっては、感染症担当者として環境衛生監視員の経験者が配置されるケースも見受けられます。こうした状況のもと、今後の環境衛生監視員の業務の遂行・方向性を考えるにあたってヒントとなるように、標記のとおり第3回保健所環境衛生監視員講座を開催する運びとなりましたので、ご案内いたします。

講座は1日で、前半では、高齢者施設と環境衛生監視員、感染症と環境衛生監視員をテーマにして、総論として関わる役割や内容について、各論として実際の現場に関する講義をしていただきます。後半は、環境衛生監視員のための感染症調査の基礎を学ぶために、ワークショップ形式で展開していきます。

今年度に環境衛生分野に配属された方から複数年の環境衛生監視員の経験がある方まで、自ら考えて行動できる環境衛生監視員の育成と研鑽を図るもので、有益な内容となっています。人数に限りがございますが、皆様のご参加をお待ちしています。

なお、来年度は、今年度と同様に、保健所環境衛生監視員講座（1日）を前期と後期の計2回開催予定です。加えて、来年11月下旬に、過去に7名のかたが亡くなった日向サンパーク温泉施設の教訓から学ぶ「レジオネラ症対策現場研修会」（2日）を宮崎県で開催予定です。

【開催日時】 2019年 11月 7日（木）

【開催場所】 一般財団法人日本環境衛生センター・東京事務所

☆所在地等 所在地： 〒105-0021 港区東新橋2丁目3番14号

ビル名： エディフィチオ トーコー 7F 702号室

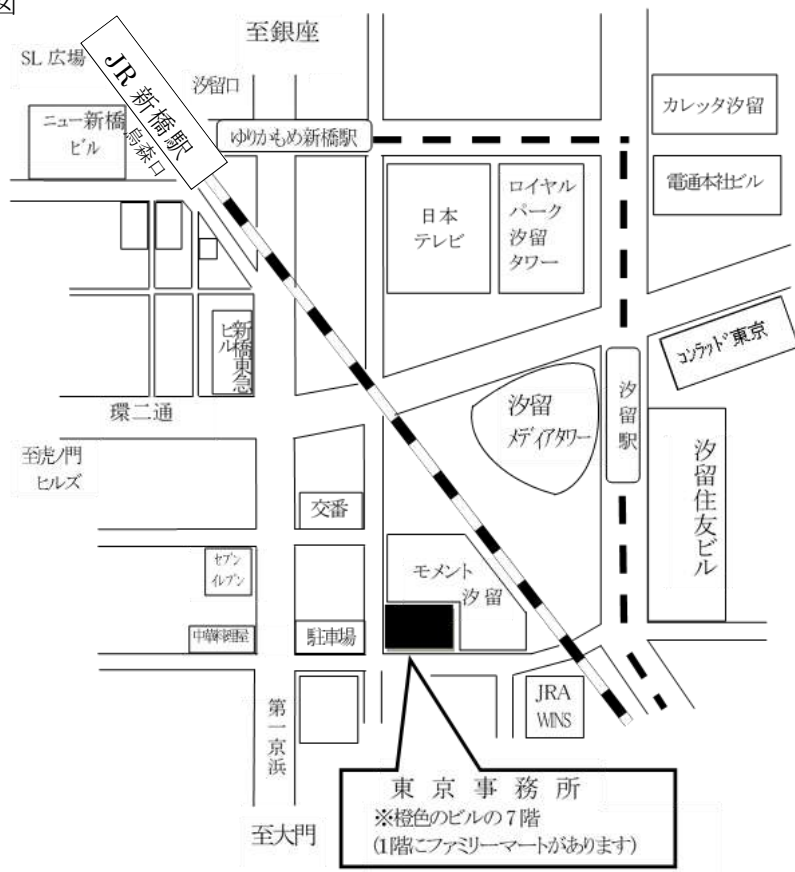
電話：03-5405-4177

☆交通アクセス・都営大江戸線・ゆりかもめ「汐留駅」10番出口より徒歩3分

・JR・都営浅草線・東京メトロ「新橋駅」烏森口より徒歩5～7分

・都営浅草線・都営大江戸線「大門駅」A2出口より徒歩7分

☆略地図



【費用】 講座参加費（資料代含む）1名 13,200円（消費税込）

※お支払いは、銀行振込とさせていただきます。

【募集人数】 30名（申込順）

【受講申込】 受講申込書に受講者名、所属、住所、電話番号、支払方法等をご記入の上、

FAXでお送り下さい。後日、受付書をFAXいたします。

〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町10-6

一般財団法人 日本環境衛生センター 環境生物・住環境部環境生物課

（担当） 中臣昌広（なかとみ）

TEL 044-288-4878

FAX 044-288-5016

E-mail masahiro_nakatomi@jesc.or.jp

【修了証】 受講修了者には修了証を発行します。

【日程、内容および講師】

2019年11月7日（木）

*都合により、講師、内容が変更になる場合があります。

9:00～ 9:30	受付
9:30～ 9:35	開講式、オリエンテーション
9:35～10:45	★高齢者施設と環境衛生監視員（70分） ＜国立保健医療科学院・上席主任研究官 阪東美智子先生＞ 所管していない高齢者施設に対して、環境衛生監視員はどのような姿勢で対応したらいいのでしょうか。役割や活動等について、総論をお話しいたします。
10:55～11:25	★文京区における介護保険課と環境衛生監視員との協力（30分） ＜文京区文京保健所生活衛生課 石山康史先生＞ 文京区では年に2回、介護保険課と保健所環境衛生監視員とが協力し、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等へ行き、レジオネラ症対策の助言をしています。
11:25～11:55	★川崎市における感染症業務と衛生監視員との関わり（30分） ＜川崎市健康福祉局保健所感染症対策課 土肥謙太郎先生＞ 川崎市では、環境衛生監視員や食品衛生監視員等の経験者が感染症担当になることがあります。どのような業務を担っているのかを報告していただきます。
11:55～13:00	昼休み
13:00～13:30	★レジオネラ症対策の基礎知識（30分） ＜（一財）日本環境衛生センター 中臣昌広＞ ワークショップの前に、作業を進めるために必要な基礎知識をお話しします。
13:30～16:20 (途中休憩あり)	★環境衛生監視員のための感染症調査の基礎（150分） ＜国立感染症研究所・感染症疫学センター 主任研究官 八幡裕一郎先生＞ ＜元神奈川県動物保護センター所長・小池剛先生＞ 感染症調査の概論をお話しいただいたあと、ワークショップ形式で「高齢者施設でのレジオネラ症患者発生」事例をもとに感染症調査の基礎を学びます。
16:20～16:30	アンケート記入、閉講式
17:30～	講座終了後、別会場（飲食店）で、希望者による情報交換会（懇親会）を約1時間30分、開催予定です。 会費は、税込み3,000円を予定しています。出席ご希望のかたは、事前に受講申込書の欄の出席に○をつけてください。会費は、当日に徴収します。

FAX:044-288-5016

第3回保健所環境衛生監視員講座 受講申込書

(郵送・FAX共通)

(ふりがな)

受講者名 _____ (環境衛生監視員・経験年数 _____ 年)

勤務先名

(部課含む)

勤務先住所 〒

連絡先電話番号 _____

FAX番号 _____

講座終了後、情報交換会(懇親会)に _____ 出席 _____ 欠席 _____ します。

振込先；三菱UFJ銀行 川崎支店 普通 4308973

イッパンザイダンホウジン ニホンカンキョウエイセイセンター リジチョウ ミナミカワ ヒデキ
一般財団法人 日本環境衛生センター 理事長 南川 秀樹

連絡事項

(領収書の宛先が勤務先と違う場合、領収書の日付の有無等をお書きください)